

一人の首切りも許さない

N関労山梨 2008.11.11 第6号

東日本NTT関連合同労働組合山梨支部

〒400-0123

山梨県甲斐市島上条1923-3

小田切 博 宅

電話 055-277-6161

発行責任者 古屋 二三男 編集責任者 小田切 博

N関労山梨支部第3回大会開かれる ！関う方針を確認！

去る10月31日、N関労山梨支部は第3回定期大会を開催しました。大会には、組合員をはじめN関労東本部、N関労東京支部、国労甲府支部、山梨教育労働ユニオンなど多くの来賓と、N関労山梨を支援して下さるサポーターの方々が集まり盛大に開催されました。

大会では、08春闘、団体交渉などの取り組みを総括し、組合員やNTTで働く労働者の労働条件を守るために会社に対して要求行動を強化すること、09春闘を全力で闘うことなどを確認し、古屋委員長の団結がんばろうで盛大な大会の幕を閉じました。



大会は古屋委員長のあいさつから始まりました。

「山梨支部を立ち上げて3回目の大会になります。この二年間いろいろなことを学んできました。今年には憲法9条ミュージカルへの出演やサポーターと共に富士登山も行いました。日常の組合活動に文化やレクリエーションを取り入れて楽しい組合活動ができました。08春闘ではストライキはできませんでしたが、5ビルでユニ

スの門前配布をサポーターにも手伝ってもらって行うことができました。この春闘ピラ配りは反響も大きく自信にもなりました。来年の09春闘はストを構えてがんばりたいと思います。」

「続いて来賓からの挨拶の後議事に入りました。議案提案は小田切書記長が行いました。今年には

委員長の職場が人業一体でNTT・ME社へ移行されるといふ合理化提案がされ、早くから質問書や窓口交渉を行うなど取り組みを強めました。料金116・線路メンテナンスなどの集約合理化が行われていますが、N関労は組織を拡大して合理化を許さない闘いをしよう。春闘ではサポーターの応援が大きな成果でした。今後とも組合員とサポーターの拡大に全力を尽くします」と総括しました。

質疑討論を経て 09春闘を全力で闘う。合理化を許さない闘いを進め



来賓あいさつ

国労甲府支部 佐野書記長
国労甲府支部は10月25日に第74回定期大会を行いました。中労委の会社側との一括和解後3年、公平公正な人事運営がされていらないため中労委に再幹旋を行いました。国労が試験を受けても受かる職場に変えなくてはならない。N関労の皆さんには、1047名の不当解雇撤回闘争はじめお世話になっています。N関労の活躍に期待します。

山梨教育労働ユニオン 武井副委員長
私は民間の労組で20年以上闘ってきた経験が今生きてきています。N関労に期待します。これから社会の矛盾はより一層働くもの、N関労には働くものの味方として輝く組織になってほしいと期待します。

東日本NTT関連 合同労働組合 音藤委員長
山梨支部は結成して丸二年経ちます。ぜひ組合員を増やす運動を期待します。N関

労とは、2002年に50歳退職制度の導入に反対して結成された。3年目に全労協統一行動に参加し、今年は今全員ストライキ、第2派ストライキができるようになった。連帯、団結が広がってきている。周りの仲間語りかけて組織を拡大していこう。

N関労東京支部 田原書記長
米国発金融危機は新自由主義の破綻を明らかにした。今私たちは主体性を強化しなければならぬ。N関労の役割は重要になっている。

全ての活動を組織拡大へ!

古屋委員長決意を語る



N関労山梨支部は、第3回大会において積極的な組織拡大を行い、09春闘を中心に闘う労働組合の方針を確認しました。

「職場で自分の要求を会社に突きつけない」として結成し、少数組合でありながらも、門前チラシ配布や会社との窓口交渉・団体交渉を通じて、自分たちの要求を訴えてきました。

労働者として当たり前がこのような行動は、まずは自分自身が労働者としてきたえられましたし、職場の仲間にも、会社側が進めている合理化の問題点を明らかにし、共に闘うことを呼びかけることができました。

N T Tのホームページを見ますと、会社としての資産状況が書かれています。

08年3月、営業利益は1兆3000億円、1兆1695億円の現金資産と、なんにでも使える予備費として、さらに2兆1200億円あります。株主配当では、今年11000円、昨年より2000円上がっています。

このように、株主への配当は上積みし、取締役の報酬は上げるのに、労働者の賃金は下げられているという、全資本側の意思はN T Tの中でも買われているということがあるかと思います。

N T Tにおける50歳定年制、賃金切り下げ、評価制度導入...さらに、企業年金の切り下げ提案などは、一企業内にとどまらず、産業を超えて行われ、労働者間の格差拡大の問題なども含めて、大きな社会全体の問題となっているのです。

労働者(階級)全体の取り組むべき共通の課題としてある、このような問題を、取り上げようとしない連合やN T T労組は、労働者の協議によって解決を図ろうとしています。この方法で解決することができないことは明らかです。

N関労の果たす役割がここにあります。私たちは、自分の職場要求だけではなく、労働者全体の労働条件向上をめざした闘いを展開しておりますので、その活動は多くの仲間へ支持され、活動の幅が広がってきています。しかし、少数組合としての力量の問題もあり、残念ながらこれらすべての要求に応えることができません。

そこで、山梨支部のみならず、N関労全体で組織の拡大ということを、真剣に取り組んでいく必要があります。すべての活動を組織拡大へ!

職場の要求も、チラシ配布も、交渉も...レクレションも、飲み会までも、すべての活動を組織拡大につなげるように、展開していく必要があります。

この一年は「組織拡大!」を合言葉に、がんばっていきましょう。みなさん!N関労と一緒に闘いましょう。

2008年度 運動方針(抜粋)

N関労山梨支部は一人の首切りも許さない、たたかう労働組合を追求していきます。そのためには、労働運動を職場から再構築していくことを目指します。

また、これまでの企業内組合の枠を乗り越え、全労協や国労闘争団、各争議団、各ユニオンなど反首切りをたたかう組織と連携・共闘を強め新たな労働運動を追求します。

以下、当面の課題と方針を提案します。

1. 組織拡大に向けて取り組みます。サポーター制度を活用し、支援してくれる仲間へ呼びかけを強化していきます。
2. 合理化に反対し、生活と権利を奪う攻撃を許さないたたかいを進めます。
3. N T T東日本 - 山梨に対する団体交渉体制を強化し、なんでも労働者の立場に立って交渉案件に取り上げていきます。交渉の経過は各職場に返していきます。
4. N関労東の方針に基づき、09春闘を積極的にたたかうとともに、成果主義賃金反対、企業年金改悪反対、合理化反対などの闘いに取り組みます。
5. 今年度も文化レク活動に積極的に取り組み、組合員・サポーターの団結強化と文化的生活の向上をめざします。



支部レクレション 富士登山

今年の夏ですが、思い切って富士登山をしました。サポーターと3人で8月11日~12日に8合目山小屋1泊という日程です。好天に恵まれて最高でした。満天の星空がすばらしく、今も目に浮かびます。流れ星を3回見ました。8合目からはラッシュで前へ進めませんでした。星空ばかり見ていたおかげです。

不安の中での出発でしたが、自分の体力に自信を持ってたことが何よりの収穫でした。闘いつづけるためには何よりも体力が肝心です。あきらめない気持ちが必要です。富士山からそのふたつをいただきました。(h o)